

3月28日 名古屋港管理組合議会 山口清明議員

# 水族館から地域の環境情報の発信を

名古屋港管理組合議会の3月定例会が3月28日に行われ、山口清明議員が2014年度決算に対する討論を行い、高橋ゆうすけ議員と山口議員が一般質問を行いました。30日に予算案などの採決を行いました。

## 水族館の可能性を追求

一般質問で山口議員は、水族館問題に集中した質問を展開。水族館の社会的使命について質問し、現代の水族館には地域と環境の二つの視点が大切だと問題を提起しました。

そして、伊勢湾岸地域の水族館ネットワークの形成、公害の歴史を踏まえた名古屋港の環境情報の発信、藤前干潟など伊勢湾地域の生物の生息環境についての展示について具体的に質問しました。

当局からは「果たすべき使命は、レクリエーションや教育機会の提供、希少水族の種の保存、水族の研究・保護など。希少生物や身近な生物の紹介も重要で、名



山口議員と管理者（大村知事）

古屋港周辺の生物展示を実施したい。また積極的に近隣施設と連携し、魅力ある展示を目指し、集客に努めたい」などの回答がありました。

## スナメリの保護を

山口議員は「長良川河口堰や藤前干潟などの材料を水族館らしく加工し、親しみやすく情報発信を。伊勢湾全体を展望し、スナメリの保護を」と提案しました。

# 20104年度決算 破たんしたバルク戦略から撤退を

2014年度決算の審査は閉会中委員会で行われ、28日の本会議で討論・採決が行われました。

## 国際バルク戦略港湾に選定されて既に4億円も使ったが見通しなし

反対討論に立った山口議員は、「国際バルク戦略港湾では、2011年に国際バルク戦略港湾に選定されてから、これまでで既に約3億9445万円が支出されました。しかし、今年度も来年度もバルク関連の調査費は一円

も計上されていません。国際バルク戦略港湾の事業化の見通しは全く立っていない」と指摘。

## 北浜ふ頭の埋め立て計画は撤退を

「国際バルク戦略港湾として北浜ふ頭地先を埋め立てる事業計画はいま、土地需要の見通しが不透明で、事業の採算性も確保できなくなり、関係者の調整も困難となっています。この計画からは潔く撤退すべき」と討論を行いました。

2016年3月名港議会定例会の主な議案に対する態度（3月30日採決）

議案名	名古屋市会選出				県議会選出				結果	備考
	共	自	民	公	減	自	民	公		
2016年度一般会計予算	●	○	○	○	○	○	○	○	可決	287億円。前年比0.8%増。県市負担金89億円。国際競争力・産業競争力の強化などに29億円、安全確保、防災対策等に68億円、親しまれる港づくりに20億円など。職員454人。
2016年度基金特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	2.4億円。41.0%増。水族館振興基金57.2%増、海事文化振興基金713.4%増、環境振興基金▲93.6%
2016年度施設運営事業会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	支出22億円。4.1%増。上屋40棟、貯木場8か所、荷役機械8基、利用料17億円等。
2016年度埋立事業会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	支出13.9億円。▲7.9%。南部地区、西部地区、南5区埋立地など。
給与条例の一部改正	●	○	○	○	○	○	○	○	可決	名古屋市の給与改定に準じ、2015年4月は0.34%引き上げ、期末手当4.1月から4.2月に。2016年4月からは期末手当4.135月に。地域手当を10%から15%にし、給料表を引き下げ。
2014年度一般会計決算	●	○	○	○	○	○	○	○	可決	

○=賛成 ●=反対 / 共：日本共産党 自：自民党 民：民主党 公：公明党 減：減税日本